



※ 「地域の皆様とともに」の続きです

「はきものをそろえる」

GT (ゲストティーチャー) として書写を指導していただいている先生が、夏休みに模造紙大の作品を制作してくださいました。現在、装丁の仕上げをしていて、まもなく児童昇降口の両側の壁に掲示する予定です。

大きく見やすく大胆に書かれているその作品は、履物を揃え心も揃えることを力強く訴えかけてくれます。ありがとうございます。

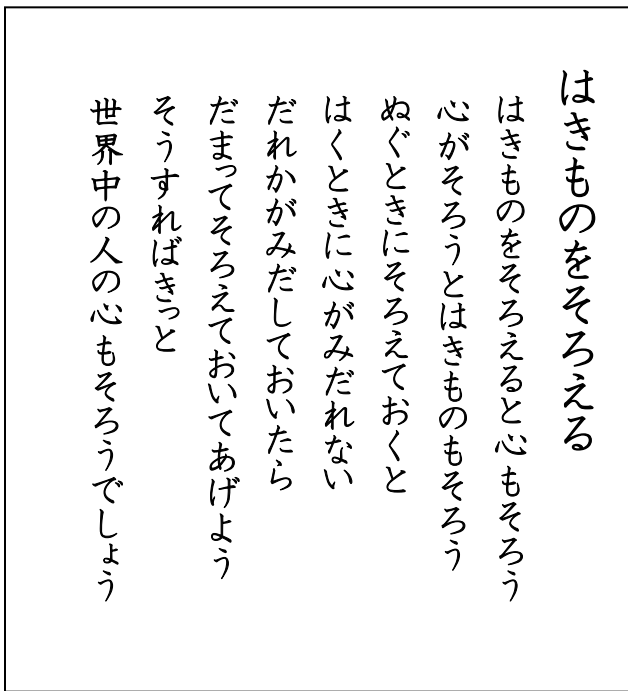
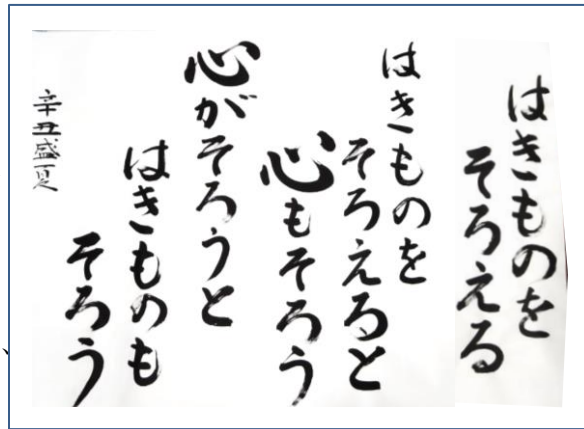
この「はきものをそろえる」は、長野市の園福寺というお寺の和尚さんだった藤本幸邦 (ふじもと こうほう) さんが作った詩から引用しています。

履物を揃えることができるのは、一つのことに集中できる心を表しています。本校の凡事徹底の取組として力を入れており、いつも、整然と並べられた靴に子ども達の日々の姿勢が身についていると感じます。

履物を揃えることは、それだけにとどまりません。履物を揃え心を集中させることが、その後の行動にもつながります。例えば、毎朝、登校時に履物を揃えることで心を落ち着けることができます。そのおかげで、昇降口では子ども達は明るく元気な声で挨拶ができ、さわやかに一日をスタートさせることができます。

履物を揃えるのは、昇降口だけではありません。聴力検査で放送室に行った時、どの学級も廊下に並べられている靴が整然と揃えられていました。担任の先生の指導も徹底していますし、揃えることを身につけている子ども達を素晴らしいと感じました。

心の集中は、授業前に学習用具を揃えることで授業に集中できる心構えを作ったり、掃除をきちんと気持ちよく教室で過ごせるようになっていたりすることにもつながり、より充実した学校生活を送る基になると考えます。また、基本的な躰 (しつけ) として身につけておくことは、大人になっても必ず生かされます。詩の後半にあるように、お互いに履物を揃えられるようになり、心も揃って素晴らしい世の中になっていくことを願います。

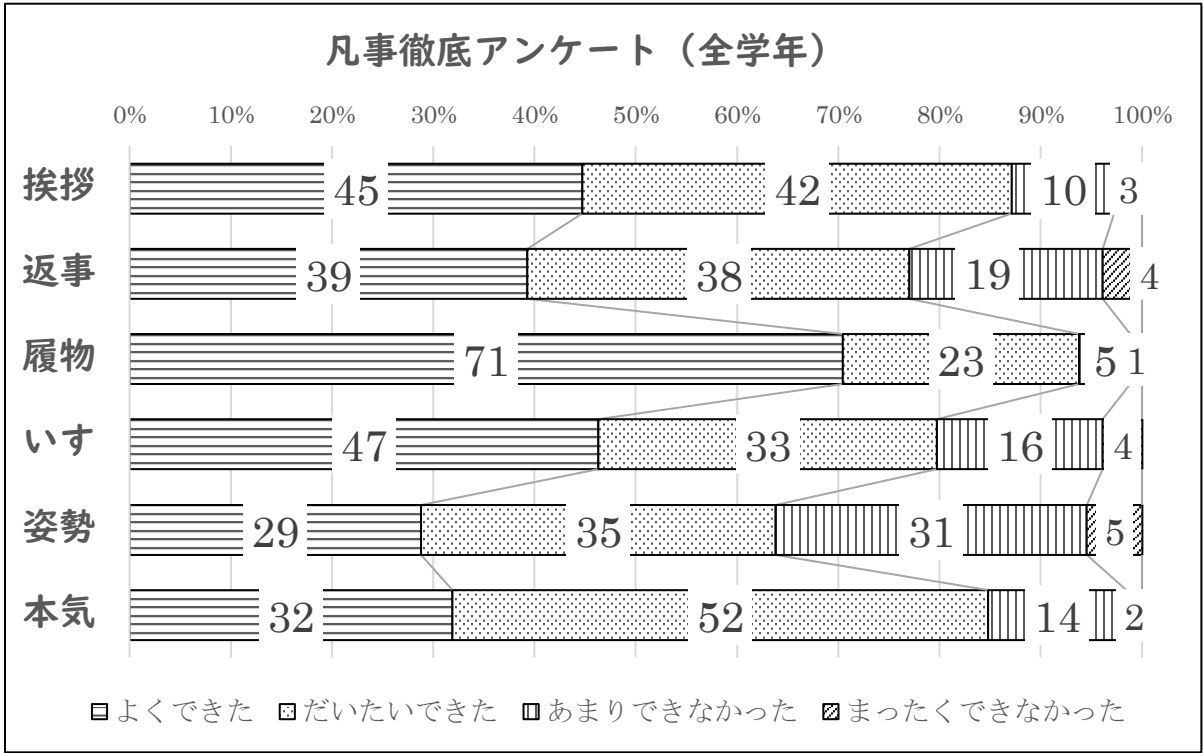


凡事徹底の取組について

1学期に継続して指導してきた一つに「凡事徹底」があります。ご存じのとおり、「当たり前のことを当たり前にするのを徹底してコツコツと積み重ねていけば、必ず大きな成果につながる」ことです。現在、学校で力を入れている取組は、基本的な生活習慣づくりにつながっています。子ども達が大きくなっても、素直さや感謝の気持ちなどが育まれ、生活習慣や人柄、相手とのコミュニケーションの上でも身につけておくべきことであると考えます。

1学期末に全校児童アンケートをして振り返りをしました。結果は、以下のとおりです。学年で違いはありましたが、大まかな傾向は同じでした。

毎朝、児童昇降口で行っている挨拶や環境委員会が点検活動をしている履物揃えは、よく頑張っていることがわかります。反対に、姿勢を正すことはこれからの課題であることもわかりました。始業式で、この結果を子ども達に伝え、2学期も全校を挙げて取り組んでいきたいと考えております。



※質問内容

- 挨拶：相手の目を見て笑顔であいさつができましたか。
- 返事：名前を呼ばれた時に「はいっ」と返事ができましたか。
- 履物：履物を脱いだときにきれいにそろえることができましたか。
- いす：席を立った時にいすを入れることができましたか。
- 姿勢：姿勢を正して生活することができましたか。
- 本気：凡事徹底の取組を本気で取り組むことができましたか。